

令和5年 役員年頭挨拶 「静岡いちご」有利販売に向けた取組紹介



▲メイントピックス:「静岡いちご」有利販売に向けた取組紹介



▲県知事へ「うまレタ。」を贈呈

Main topics

「静岡いちご」 有利販売に向けた取組紹介 ~静岡県いちご協議会の消費宣伝事業~…03 topics&news 県産レタスをPR 「うまレタ。」を県知事に贈呈 ………05 新品種導入を検討 静岡県花卉連カーネーション部会役員会と 品種検討会を開催 ………… 業務加工の残渣で製造した堆肥を使用 富士宮地区加工キャベツほ場を視察 ……05 静岡みかんの有利販売を 第3回静岡県経済連柑橘委員会・青島温州 販売対策会議・青島平十翁顕彰碑参拝……06 「東京ゴールド」を審査 第31回静岡県キウイフルーツ果実品評会…06 JA職員の資質向上のために 農薬実践研修会を開催 ・・・・・・・・・・07 新任営農経済職員が知識技能取得 営農経済事業初任者研修会………07 清掃工場の溶融スラグから製造した「SKケイカル」 第10回環境省グッドライフアワード実行委員会特別賞を受賞・・・O7 営農だより 水稲害虫「イネカメムシ」について……08 お知らせ 建設部からのお知らせ …………09

あぐりんく静岡からのお知らせ······09 令和4年度永年勤続表彰者 ·····10

全農県本部親善野球大会に出場! ……10

令和4年度東海北陸地区県経済連·

年頭のごあいさつ



経営管理委員会会長 松永 大吾

新年あけましておめでとうございます。 希望に満ちた新たな年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

令和5年の新春を迎え、本年が皆様方にとりまして明るい年になりますよう、心からご祈念申し上げます。また、日年中はJA静岡経済連の事業につきまして、格別のご支援とご協力を賜りまして、格別のご支援とご協力を賜ります。

昨年の我が国の経済は、ロシアのウク安、依然として終息しない新型コロナウ安、依然として終息しない新型コロナウイルス感染症の影響などにより厳しい情勢となりましたが、社会・経済活動の再開とともに徐々に回復に向かっています。

農業を取り巻く情勢では、各種資材

類の高騰などにより農畜産物の生産コストが著しく上昇し、農家・組合員の経営に多大な影響が及んでおり、営農継営に多大な影響が及んでおり、営農継営に多大な影響が及んでおり、営農継営に多大な影響が及んでおり、営農継内」「経営環境に対応した事業・経営の転換」「活力ある職場づくり」の総付上げに向けて取り組んでまいりました。令和5年度から「JA静岡2か年社上げに向けて取り組んでまいりました。令和5年度から「JA静岡2か年前画の達成に向けて「産地の維持・拡大に向けた農業振興強化」「新時代に対応向けた農業振興強化」「新時代に対応対応、

応した総合事業改革」「持続可能な経営基盤を確立・強化」を基本目標に掲営基盤を確立・強化」を基本目標に掲変化に合わせて自ら変化し、いつの時代にも信頼される経済連であること、無くてはならない経済連を目指すことにくてはならない経済連を目指すことにらの組合員の皆様には引き続きご支援ごめ組合員の皆様には引き続きご支援ごめ組合員の皆様には引き続きご支援ごめ組合員の皆様には引き続きご支援であるといる。本手が静岡県JAグループことって、本手が静岡県JAグループことって、本手が静岡県JAグループことって、本手が

本年が静岡県JAグループにとって、本年が静岡県JAグループにとって、



お迎えのこととお慶び申し上げます。皆様におかれましては穏やかな新年を新年あけましておめでとうございます。

田年中は、JA静岡経済連の事業につきまして、格別のご理解とご協力を ちりまして、格別のご理解とご協力を なりまして素晴らしい一年に なりますよう、心からご祈念申し上げ

さて、昨今の農業を取り巻く情勢をみますと、輸入に依存している生産資材の価格高騰や新型コロナウイルス感染症による消費動向の変化に加え、激甚化する自然災害など生産基盤に多大な影響を及ぼす要因も多く、目まぐるしく変化する環境への対応が求められてく変化する環境への対応が求められてく変化する環境への対応が求められています。

を得る取り組みを実施しました。購買 にのような情勢の中、昨年は「JA では生産者の経営費が増加し が非常に厳しい状況をパート が書業では生産者の経営費が増加し が当からで販売価格への反映に理解 を得る取り組みを実施しました。 して目 を得る取り組みを実施しました。 は、販

た支援を行いました。た支援を行いました。適正施肥による生産コストの低減や農産物の品質向上に向ける性進し、適正施肥による生産コーストの低減や農産物の品質向上に向ける

令和5年度からは、「再生産価格の で和5年度からは、「再生産価格の ではとする新たな「JA静岡2か年 で対率的な事業運営体制の構築」を戦 で対している。 では、「再生産価格の で、「再生産価格の

本会としましても、役職員が一丸となり農家・組合員・会員・地域社会のなり農家・組合員の皆様におかれまして取組を進めてまいります。会員をはじめ農家・組合員の皆様におかれましてはご理解・ご協力を賜りますようお願



代表理事専務 寺田 国彦



代表理事理事長 加藤 敦啓



常勤監事 市川 敬弘



常務理事 鎌野 厚



常務理事 石川 和弘



県内や京浜地区を中心に出荷してい と「きらび香」で、 岡いちご)の主力品種は「紅ほっぺ」 が盛んな県です。 で県内主要農産物の中でも第5位 (野菜の中では第1位)とイチゴ生産 今回のメイントピックスでは、 -県のイチゴ生産額は全国第5位 本県産イチゴ(静 11月から5月に

議会が取り組む事業 の有利販売のために静岡県いちご協 荷最盛期を迎えている「静岡いちご」 をご紹介します。 きらび香 輝き・香り・甘みが特徴的な (特に消費宣伝 静岡県生まれの新品種。キ 静岡県生まれの新品種。キラキラした宝石のような輝きに品の良い甘みとフルーティーな香りから名づけられました。みずみずしくなめらかな口 当たりが楽しめます。



▲みちょぱさん(左)に静岡いちごを手渡す飯田会長(左)

ターなどの資材用写真の撮影を行い タジオでプロモーション動画とポス

同協議会の飯田会長がスタ

ほっペ」と「 ジオを訪 ました。

きらび香」

を贈りまし

れ

みちょぱさんに

▲「紅ほっぺ」と「きらぴ香」の特徴について

に 出 協 議

関する共通の問題を研

究

改善する

ことにより有利販売に努め生産者所

向上を目的としています。

事業内

容は次のとおりです。

「静岡いちご」の生産、流通、

、販売

Ш

1.

員会の飯田寿夫委員長が令和4年度 担っています。 会員として組織する協議会で、 2 同協議会の会長を務めています とJA職員の25人が協議会の委員を 局を本会みかん園芸部野菜花卉課が チゴを系統出荷する生産者とJAを 静岡県いちご協議会は、 JAふじ伊豆 県内11JAの生産者 伊豆の国苺委 県内でイ

協議会は 目的と事業について

一静岡いちご」 の販売に

(2)

「静岡いちで」の消費拡大に関する

な事項

に関する調査、

研究、

改善に必要

事項

イメージキャラ よる消費

(4)その他、この協議会の目的を達成(3)関係機関との連携に関する事項

(1)

するために必要な事項

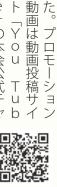
ます 連続でイメージキャラクターを務め んが、令和2・3年度に引き続き3年 て活躍する池田美優 (みちょぱ) さ

1

プロモーション資材の作成

令和4年11月、

東京都内の撮影ス



ト | Y o u

T

の本会公式チャ

▲プロモーション

本県出身でタレント・モデルとし

紅紅

▲撮影時のようす

ます。 作成-また、 ンネルにて期間限定で配信します ミニのぼりや等身大パネルを 販促イベントなどで活用-

2 .ージキャラクター3年目になりま とキャンペーンについての意気込 静岡いちご』キャンペーンの みについて 「静岡いちご」に対するメッセージ みちょぱさんからのメッセージ



▲販促資材 (等身大パネル)





▲静岡いちご娘(写真左から:松下さん、大島さん、森田さん)

問い合わせ先 ・静岡県いちご協議会

ろしくお願いします!」 ペ』と『きらぴ香』の魅力をたくさ の美味しさの秘訣を知って、『紅ほっ ②「静岡いちご」を試食した感想につ クターとしてがんばりますので、よ ゼントしています!『静岡いちご』 まして、家族や友達にたくさんプレ ん伝えていきます。イメージキャラ 『静岡いちご』の大大大ファンになり した、みちょぱです!私もすっかり

ゴなので大切に1つ1つ食べていき の色々な想いが詰まってできたイチ 種類食べたい(笑)。生産者の皆さん 夜『紅ほっペ』でぜいたくに1日2 と詰まっている濃厚な感じで、 ぎっしり詰まっていて、 たいと思います。」 で、朝に食べたい!朝『きらぴ香』、 んだ瞬間果汁が口いっぱいに広がっ 夜に食べたい!『きらぴ香』は、 しいです!『紅ほっぺ』は、ぎゅっ きっしり詰まっていて、とても美味「今年も生産者の皆さんの想いが 甘みと旨みが詰まっている感じ は、私味は

PR活動を実施します。

大イベントなどで「静岡いちご」のす。県内のテレビ番組出演や消費拡

静岡市の森田奈菜(もりたなな)さ 島弥采(おおしまみさ)さん、JA

ん、JA遠州中央の松下萌々子(ま つしたももこ) さんの3人が務めま

るキャンペーンを実施します。また、 Sと併せてWEB上で情 特設サイトを開設しSN の特徴をクイズ形式で回答・投票す 「紅ほっぺ」「きらぴ香」それぞれ WEBやSNSでの情報発信 回报

おわりに

報発信を行います。

岡県いちご協議会では、ウィズコロ消費宣伝について紹介しました。静 に取り組んでまいります。ぜひ、「静を実践し、「静岡いちご」の有利販売 ご賞味ください。 岡いちご『紅ほっぺ・きらぴ香』」を ナでの効果的かつ計画的な消費宣伝 荷最盛期を迎える「静岡いちご」 今回のメイントピックスでは、 の出

ため活動を行う「静岡いちご娘」を 静岡いちご」を広く普及啓発する 「静岡いちご娘」によるPR活動 その他に次の取組を実施します。

います。今年は、JAふじ伊豆の大毎年3人選出し、PR活動を行って

電話:054-284-9714

事務局:みかん園芸部

野菜花卉課

県産レタスをPR

うまレタ。」を県知事に贈呈

平成30年にブランド化した静岡県産 クション」に認定されています。 前に生産状況や消費拡大をPRしま 委員会委員長)が川勝知事にレタス 年偉丈副会長 おおいがわレタス部会部会長)と萬 を川勝平太静岡県知事に贈呈しまし 務局:野菜花卉課) レタスで、昨年度「しずおか食セレ 静岡県庁で静岡レタス「うまレタ。 た。同協議会の太田篤武会長 した。「うまレタ。」は、 太田会長らは「今シーズンは品質 :月22日、静岡県レタス協議会(事 今シーズンの本格出荷を (JAハイナンレタス は、 静岡市葵区の 同協議会が Â

も良く安定した出荷ができる見込 の農芸品」と評価しました。 み」と報告すると、川勝知事は「『う まレタ。』は本県を代表するブランド

スのリアルタ が生産性向上のため開発した「レタ 同協議会では、県農林技術研究所

験を今シーズ んでいきます 販売に取り組 市場での有利 ム」の運用試 予測システ ンから始め、 イム収穫生育



て確認 につい の要領 会など



の展覧

ヘツは2月まで

出荷予定です。

新品種導入を検討 役員会と品種検討会を開 静岡県花卉連カーネーション部会

当者らが出席しました。 検討会を開き、県・生産者・JA担 連カーネーション部会役員会と品種 豆農業研究センターで、 茂郡東伊豆町の農林技術研究所・伊 12月2日、 (事務局:野菜花卉課) 静岡県花卉園芸組合連 静岡県花卉 賀

社が持ち込んだサンプルを見せなが ら品種を説明 品種検討会では、 種苗メーカー5

た。 種の特性など 手に取り、 を確かめまし 加者らはサン ブルを実際に しました。参 役員会で

は、

加工業務用キャ した。 たい」と話しま きに考えていき け生産者と前向 同地区の

ほ場を視察 冨士宮地区加工キャベツ 業務加工の残渣で製造した堆肥を使用

ら幹部が参加しました。 の生育状態を確認しました。本会と 業者である田形青果㈱と今シーズン 士宮地区本部は、富士宮市内のキャ 所みかん園芸課) ベツほ場で出荷先のカット野菜加工 Aの担当者、 11月11日、本会(特販課、 同社の田形文秀社長 とJAふじ伊豆富 東部支

ツ残渣を利用した堆肥を開発。今シ を使って製造した堆肥で試験栽培を ーズン初めて同地区のキャベツ残渣 て業務加工の工程で発生するキャベ ついて意見交換も行いました。 酒の堆肥と従来の堆肥の違いなどに 行っています。参加者は、キャベツ残 同社はSDGSの取組の一環とし

回の試験栽培で出た課題の解決に向 の状態を確認することができた。今 たい」と話し、田形社長は「ほ場や土 課題をクリアしながら取組を継続し 同JA担当者は「試験した堆肥の



静岡みかんの有利販売を

第3回静岡県経済連柑橘委員会・青島温 一翁顕彰碑参拝 州

の徹底・計画出荷することなどを確 静岡」をアピールするため貯蔵管理 厳選出荷に努めることや「貯蔵産地 荷基準や販売・生産対策などを協 て玉串の奉納と献杯を行いました。 の矢岸正敏委員長らが、感謝を表し の顕彰碑を参拝しました。同委員会 島温州の生みの親である青島平十翁 会と青島温州販売対策会議を開きま 市内で第3回静岡県経済連柑橘委員 柑橘委員会では、 た。併せて出荷の本格化を前に青 (事務局:柑橘果樹課) 販売先からの信頼に応えるため 静岡県経済連柑橘委員 青島温州の出 は

認しました。

明しました。生 高騰による経営費の変化について説 また、本会より卸売会社へ資材価格 産地動向などの情報を共有しました。 情勢や年内の販売情勢、年明けの他 売対策会議では、 卸売会社も参加した青島温州販 県内各産地の産地

を求めました。 社へコスト上昇 いて報告し、各 経営の現状につ 産コスト上昇 についての理解 における農家



▲挨拶する矢岸委員長

▲顕彰碑参拝





▲銀賞(上)と銅賞(下)



業会館で「第31回静岡県キウイフル ました。 みずの山田文夫さんが金賞を受賞し 会(事務局:柑橘果樹課) ーツ果実品評会」を開催し、 は、 J A L

職員ら審査員9人が、出品された「東 品物の平均糖度は15・3度、 どの内容について審査しました。 之センター長が審査長を務め、 度は17・5度でした。 病害虫などの外観と果肉色や食味な 京ゴールド」12点の形状や玉ぞろい 静岡県果樹研究センターの松浦英 最高糖 県の

上位入賞者は次のとおり(敬称略)

11月29日、

静岡県落葉果樹振興協

第31回静岡県キウイフルーツ果実品評会

「東京ゴールド」を審査

静岡県京浜地区果実流通協議会会長賞 山田文夫(JAしみず)

銀賞1席 静岡県経済産業部長賞

銀賞2席 ター長賞 静岡県農林技術研究所果樹研究セン 森 龍介 (JA静岡市)

日吉義茂(JAふじ伊豆)

伊代野重之(JAふじ伊豆) 杉山 進(JAしみず) 村田嘉巳(JA静岡市)

JA職員の資質向上のために 農薬実践研修会を開催

部開催し、 ました。研修会は、午前と午後の2 シンジェンタジャパン㈱技術普及セ しました。 ノターで、農薬実践研修会を開催し 11月11日、肥料農薬課は島田市の JA担当者ら44人が参加

明・提案することを目的に、同メー カー協力の下、 生産者により深く防除について説 ほ場の作物・病害虫

> 認できるようにしました。 病害虫被害を受講者が実際に目で確

明しました。 のほ場や温室に設けた4つのブース を回る受講者に、 連携して講師を務め、同センター内 本会担当者と同メーカー担当者が 各項目について説



1	
ブース	項目
1	・土壌処理粒剤での美肌効果及び初期生育差、展着剤加用 汚れ軽減の確認【ダイコン】 ・定植時処理の薬剤選択による初期生育差、生育期処理の
	る効果差の確認 【ネギ】 ・チョウ目の生態学習

ブース	項目
1	・土壌処理粒剤での美肌効果及び初期生育差、展着剤加用による濡れ性 汚れ軽減の確認【ダイコン】・定植時処理の薬剤選択による初期生育差、生育期処理の粒剤処理による効果差の確認【ネギ】
2	・チョウ目の生態学習・苗処理剤による効果差、散布回数の違いによる殺虫効果、体系使用薬剤の違いによる効果差の確認【キャベツ】
3	・プリグロックスL種子発芽後枯殺効果 ・非選択性除草剤の体系/連用散布による植生の変化確認 ・各種除草剤ノズルの学習
4	・トマト/ナスでの各種微小害虫観察【微小害虫】 ・感染前/感染後散布(予防/治療散布)の効果確認(パネル)【殺菌剤】 ・イチゴでのカブリダニ・アカメの観察【天敵】

ငထာ

宮農経済事業初任者研修会 新任営農経済職員が知識技能取得

研修会館などで開き、 員の研修会を、菊川市の静岡県農業 会と共催で、 人が参加しました。 生産振興開発課は、 営農経済部門の初任職 JA職員ら45 JA静岡中央

受けました。また、農業技術研究所 いました。 には参加者一人一人が決意表明を行 や生産者の現場視察、研修会の最後 基礎知識についての講義、 ました。参加者は、同課の市川健コ 28日・29日のそれぞれ2日間実施し 班は11月24日・25日、 システム「Z-GIS」の概要説明を 西日本営農資材事業所より営農管理 ついて、県肥料協会から土壌診断の ンサルタントより農薬希釈・散布に 研修会は2班に分けて行い、第1 第2班は11月 J A 全 農

> 第10回環境省グッドライフア 清掃工場の溶融スラグから製造した「SKケイカル ド実行委員会特別賞を受賞

SDGs達成の取組として評価され DGSビジネス賞」を受賞しました。 開催し、日鉄エンジニアリング㈱の 省グッドライフアワード」 表彰式を 域経済の活性化に貢献できるもので デル」は、資源循環社会の形成、 て地域で有効活用する「地産地消モ んでいます。地域のごみを資源化し 洋分野へ適用拡大することに取り組 み処理の副産物) 工場から産出される溶融スラグ(ご 活動 ~溶融スラグを農業・海洋分野 に活用~」が実行委員会特別賞「S 「ごみ処理の地産地消モデルの普及 この活動では、 12月3日、 環境省は「第10回環境 静岡市西ケ谷清掃 を、地域の農業・海 地

や花き生産で活用されています。 ています。「SKケイカル」は、 Kケイカル」として商品化し販売し 国で初めて肥料登録され本会で「S 廃棄物由来のケイ酸質肥料として全 農業分野では、 令和4年3月一般

今回の受賞となりました。





静岡県内の水田における斑点米カメムシ類捕獲数の推移(8~9月の合計値、本田すくい取り虫数) ※調査年度によって調査ほ場数(n)は異なる(n=47~50)



形態

面には暗褐色の小さな点刻が多数

成虫は体長13㎜、

淡黄褐色で背

シ」について紹介します。 メムシ」の被害が県下全域で発生 す。特に、 主な要因はカメムシによる被害で が増加しています。斑点米発生の 斑点米などにより格付低下する例 しました。ここでは「イネカメム く不稔被害も引き起こす「イネカ 近年、 米の農産物検査において 昨年は斑点米だけでな

ネ科植物の株元」で生活していま や冬期温暖な山腹に生えているイ 成虫で越冬し「南向きの傾斜面

越冬成虫は出穂期前後

(7月中

が拡大します。 の水田から中生・晩生品種の水田 孵化し幼虫は穂を吸汁し発育羽化 旬頃)に水田に飛来して、 に移動して加害を続けるため被害 に産卵します。卵は1週間以内に 登熟初期を好むため、 早生品種 葉や穂

発生生態

っています。 うになり、 生態はまだよくわかっていません。 問題になることは少なく、 しかし、 て知られているものの、 本種は古くからイネの害虫とし 近年全国的に多発するよ 警戒が必要な害虫にな これまで 詳しい

齢経過して成虫になります。

あります。幅は5~5.5m程度です。

幼虫は丸くて扁平で灰緑色、

5

ます。 ますので、圃場をよく観察します。 するので、成虫の存在に気付くこ きい穂は傾穂せず直立したままに 期から後期にわたり穂を加害しま 立してから気付くことが多くなり 籾基部を吸汁して斑点米が発生し なります。また、登熟中期以降は るため籾は不稔となり、 す。登熟初期は籾の基部を吸汁す とが出来ずに不稔籾の多い穂が直 成虫・幼虫が、 主に夜間から朝方に籾を吸汁 日中は株元から葉の下に潜 出穂後の登熟初 被害の大

は基部加害型斑点米が多く発生し が中心です。中生種から晩生種に 早生種での被害は不稔穂の発生



成虫

直立した不稔穂

田周囲の除草は出穂7日~10日前 準に基づいて行ってください。

までに実施します。

ます。

使用薬剤は各JAの防除基

成虫が多い場合は3回目を実施し

期

(生産振興開発課 コンサルタント 鈴木秀規

害を防ぐ上で重要になります。 散布します。但し、2回目防除後 穂に薬液がしっかりかかるように に重点的に防除を行なうことが被 から水田に侵入するので、 防除対策 出穂期とその7~10日後の2回 イネカメムシはイネの出穂直

(基部加害型斑点米 静岡県病害虫防除所提供)

建設部からのお知らせ

担当 建設部 054-284-9523

富士伊豆農業協同組合

新店舗完成 伊豆太陽地区

地区本部•下田支店

12月2日、JAふじ伊豆は、伊豆太陽地区本部・下田 支店建設工事の竣工式を行いました。

神事は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を 行い、鈴木正三代表理事組合長をはじめ、最小限の出席 者により厳粛に執り行われました。

本工事は昨年度より着工し、現在の伊豆太陽地区本部・ 下田支店の敷地東側にあった職員用駐車場に建替えを行 い、12月12日に建物1階にある下田支店がオープンし

と食堂の機能をもたせた鉄骨造3階建、延床面積2,080

新店舗オープン後、現在の伊豆太陽地区本部・下田支 店の解体工事を実施し、解体跡地に駐車場を整備する予

設計監理は、静岡県経済連一級建築士事務所が行って います。



▲建物外観写真



▲鈴木組合長玉串奉奠



テレビ番組

しています。

「しずおかごはんが食べたい!」(テレビ静岡)

静岡県産米麦流通連絡協議会(事務局:食糧部)は、テレビ番組「しずお かごはんが食べたい!」(テレビ静岡・全11回放送)に協賛し、県産米をPR

令和4年度の第8回目(12月17日)の放送では、お笑い芸人のオードリー・ 春日俊彰さんが、島田市と吉田町から「静岡コシヒカリ」を紹介しました。 生産者の高橋直志さんがビデオメッセージで出演し「静岡コシヒカリ」は粘 りが強く、もちもちとした食感、キラキラした光沢が特徴とPRしました。

次回の「しずおかごはんが食べたい!」は、富士市と富士宮市からフォー

リンラブ・バービーさん が酒米「誉富士」を使っ たお酒を紹介します。放 送は1月21日(土)の夕 方5時となりますので、 ぜひご覧ください!



担当:食糧部 食糧課(TEL:054-284-9737)



▲「静岡コシヒカリ」を紹介



▲生産者からのビデオメッセージを紹介

令和4年度 永年勤続表彰者



代表理事専務 常務理事 (右上) 代表理事理事長 寺田 国彦 敦啓 鎌野 厚 三橋 民和 加藤

公彦 柴田 匡哲 大胡田英男 宮澤 将之 大石 伸也 水野 歩美 諸伏 正之 佐藤 貴久 富田節

ŀ	氏 名		,]	所 属	採用日
Ξ	橋	民	和	JA支援課	平成5年4月1日
大	石	伸	也	企画管理課	平成5年4月1日
諸	伏	正	之	販売情報センター	平成5年4月1日
齊	藤	公	彦	東京事務所	平成5年4月1日
大	胡日	日英	男	肥料農薬課	平成5年4月1日
富	田		節	野菜花卉課	平成4年10月1日
佐	藤	貴	久	食糧課	平成5年4月1日
柴	田	囯	哲	西部支所 みかん園芸課	平成5年4月1日
宮	澤	将	之	総務部付出向	平成5年4月1日
水	野	歩	美	肥料農薬受注センター	平成5年4月1日



代表理事専務 代表理事理事長 (右上) 常務理事 寺田 国彦 加藤 敦啓 鎌野 厚 住田祐介

野田 和宏 斉藤 宏 佐藤 哲也

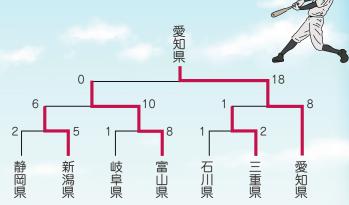
氏		名		所 属	採用日
野	\boxplus	和	宏	総務部	平成9年4月1日
住	田	祐	介	総合エネルギー課	平成9年4月1日
佐	藤	哲	也	東部エネルギー事業所	平成9年4月1日
斉	藤		宏	土壌肥料分析センター	平成9年4月1日



令和4年度東海北陸地区県経済連・全農県本部親善野球大会に出場!

9月22日と23日、本会野球部は、愛知県で行われた令和4年度東海北陸地区県経済連・全農県本部親善野球大会に出場しまし た。コロナ禍で昨年・一昨年の大会が中止となり、3年ぶりの開催で、本県を始め全7チームが出場し、トーナメント形式で優勝を争 いました。本会は惜しくも1回戦で敗れてしまいましたが、職員相互の親睦を深めました。





TEL.054(284)9708 FAX.054(284)9780 http://jashizuoka-keizairen.net E-MaiL:keizairen@kei.ja-shizuoka.or.jp



